

仲良川マングローブ林台風被害地調査記録簿

調 査 場 所	西表国有林 154 い林小班 仲良川支流
調 査 年 月 日	地上調査：令和 8 年 1 月 28 日（木曜日） 天気：晴れ 空撮： 令和 8 年 1 月 28 日（木曜日） 天気：晴れ
調 査 者	小野、田中、津波、赤星
被害地内の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 7 年度においては西表島に台風の上陸は確認されず、調査地内の被害はなく、以前からある倒木の腐朽、流出が確認された。</li> <li>・被害地内中央部では、昨年と同様に水流（川）を中心に土泥化が見られた。</li> </ul>
被害地内の稚樹の発生状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生状況 上流部（P1,P3）では稚樹の発生は確認されず、中央水流部や裸地箇所においても稚樹の発生は確認されなかったが、下流部の水流周辺では稚樹が多数確認された（成長も確認）。</li> <li>・定着状況（1.3m 以上に生育したもの） 別紙のとおり</li> </ul>
被害地林縁部の繁殖体の着生状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害地下流部の林縁部（P4,P5,P6）付近には、多くの稚樹の発生が昨年同様確認された。被害地内の水流から離れていることや母樹となるオヒルギの存在等が、胎生種子の定着、発芽等に関係することが推察される。その他にも（P2,P7, P8,P9）周辺でも稚樹が僅かに確認された。</li> <li>・定着状況（1.3m 以上に生育したもの） 稚樹の発生同様、台風被害地中央部を流れる川(支流)から離れた林縁部（P4,P5,P6）に確認された。</li> </ul>

- 注) 1 稚樹の発生及び定着状況については、林内が歩行困難なことから遠方目視（双眼鏡等）により確認出来たものを記載することとする。なお、特記事項がある場合にはこの限りではない。
- 2 繁殖体の状況については、林縁部を周回して確認した上でその状況を記載する。
- 3 写真を必ず添付報告すること。

# 仲良川マングローブ林台風被害箇所

西表国有林154い林小班

定 点 撮 影



調査年月日

地上調査 令和8年1月28日(木)

空撮 令和8年1月28日(水)

西表森林生態系保全センター



P1

上流域(左側)からの水流が確認され、水流周辺には土泥化が見られる。また、林縁部では稚樹が見られるが、中央部での稚樹の発生は確認されていない。



P2

中央部に水流が見られ、被害木(風倒枯損)を確認した。また、中央部は稚樹の発生は見られない。P2周辺の稚樹に成長が見られる。



P3

中央部からP3側に水流が形成されている。中央部には被害木(風倒枯損)が散乱しており、稚樹の発生は確認されていない。



P4

中央部に水流が確認され、被害木(風倒枯損)が見られる。林縁部やP4周辺では稚樹の発生、定着を確認した。P4正面の成木の下部からも稚樹の発生を確認した。



P5

被害地下流部に位置し、水流域の林縁部には順調な生育を確認した。



P6

被害地下流域に位置し、稚樹の発生、定着を多数確認した。一部は1.3m以上の成木に達しており、稚樹の生長が見られる。



P7

中央部の水流及び裸地箇所においては稚樹の発生は確認されない。林縁部では稚樹の発生、定着が確認でき、順調な生育が見られる。



P8

中央部の水流及び裸地箇所では稚樹の発生は確認されず、被害木(風倒枯損)が目立つ。林縁部では稚樹の発生、定着が確認できるが、P8周辺では枝葉の鬱閉により光の侵入が妨げられており、稚樹の発生は見られない。



P9

中央部の水流部及び裸地箇所では土泥化が見られ、被害木(風倒枯損)が散乱している。林縁部にヤエヤマヒルギの稚樹の発生が確認され、生長が見られる。



**稚樹の状況  
(P3からP1を眺める)**

中央水流部には被害木(風倒枯損)が散乱し、林縁部では稚樹の発生が見られるが、裸地箇所に発生は見られない。

**稚樹の状況  
(P4からP8下流方向)**

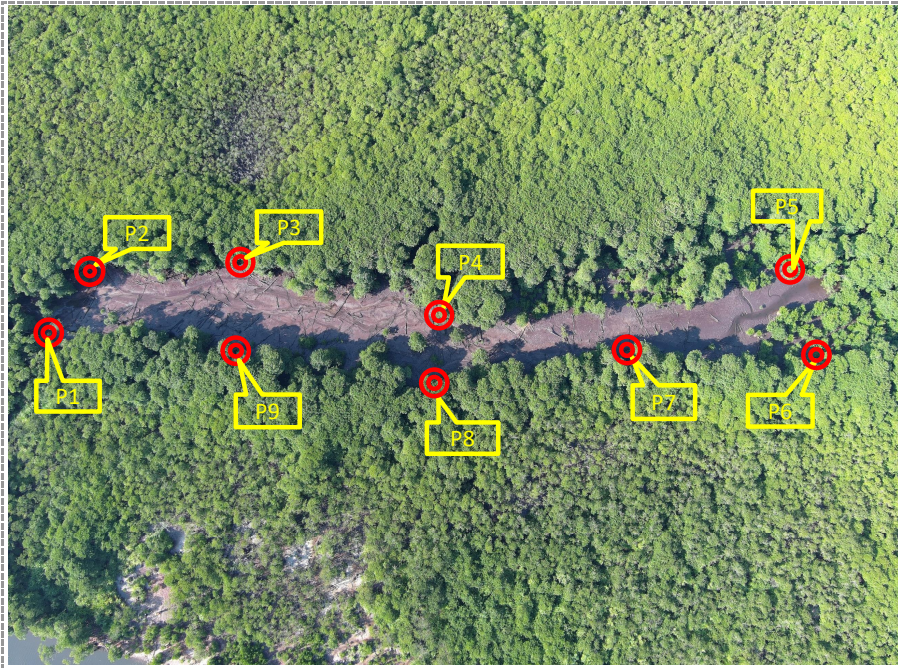
中央部の成木からの稚樹の発生や、P4周辺、P8林縁部で新たな稚樹の発生が多く確認された。



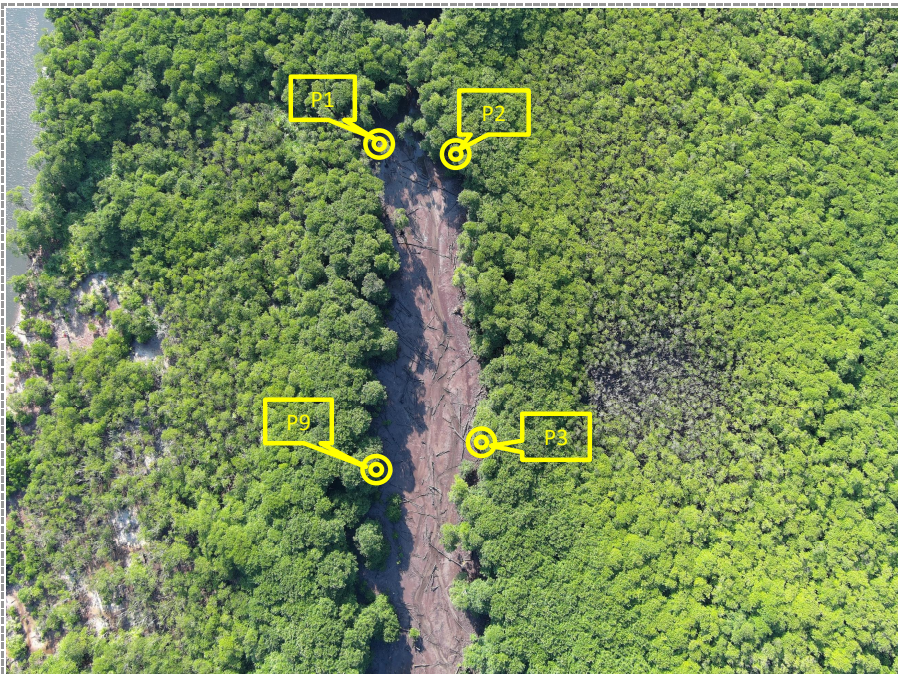
**稚樹の発生状況  
(P7付近から対面方向)**

ヤエヤマヒルギの稚樹群が定着しており、林縁部では順調な生育が見られるが、水流部及び中央部付近に稚樹の発生は見られない。





全体
撮影高度150m
被害地中央に水流が確認できる(昨年度調査時から変化なし)。
(画像左が上流)



P1~P3, P9
撮影高度120m
中央部に水流が確認できる。水流部で稚樹の発生は確認できなかった(昨年度調査時から変化なし)。
(画像上が上流)



P4, P8
撮影高度120m
中央部に水流が確認できる。被害地右林縁部を中心に稚樹の発生、定着が確認できる。
(画像上が上流)

